



さとやまぶ

2020年11月1日現在	
世帯数	: 5,406戸
男	: 5,812人
女	: 6,150人
計	: 11,962人

歴史と文化の足跡を探して

町内公民館長会と

里山辺公民館との合同研修を実施

里山辺地区16町会には町会

独自の公民館活動を企画・運営し、また住民の皆さんのサークル活動を支援するため、町内公民館長が在籍し、日夜がんばっています。球技大会や敬老行事、住民の交流と親睦を目的とした行事など、皆さんも楽しみにされていると思います。が、その多くは公民館長はじめ公民館役員が知恵を出し合い実施されています。

そんな町内公民館の活動の一助になればと、地区公民館の役員と地



福島関所を訪れました

合同研修会を毎年一

度実施しています。

今年の研修会は「歴史散歩——信濃の街道で育まれた文化——」という連続シリーズの第1弾で、木曾福島宿と奈良井宿を取り上げ、江戸時代の主要な街道である中山道の歴史と文化を学びました。なぜ、木曾なのかと疑問に思われたかもしれません。理由の一つは街道のつながりです。木曾からつな

がる中山道が塩尻市洗馬で善光寺街道につながり、多くの旅人が善光寺詣でに松本を通過したという昔のロマンは里山辺を抜けた旧五千石街道にも通じるものがあります。理由のもう一つに尾張徳川家が治めた日本四大関所の一つ福島関所に里山辺から往来があったという当時の状況を知ることができたためです。

なにはともあれ、公民館活動への思いや雑感を気軽に話し合えた研修になりました。

「さとのわファームの体験を通して」

昨年末に松本市へ引っ越してきました。少しでも地域の方と交流を持ちたい、また自然に触れたいという思いで、たまたま回覧板で知ったこの活動に参加することにしました。

おばけカボチャやメロン、サツマイモの植え付け、その収穫や焼き芋大会など楽しく貴重な体験ができました。

また里山辺の景色を眺めながら、土に触れることがとても清々しく、気持ちの良いものでした。子どもは畑で野菜を作ることの大変さを知り、食べ物を大事にするようになりました。参加し本当に良かったと感じます。これからの活動も楽しみです。

齋藤久美



美味しい焼き芋ができるかな？

わが町紹介 ●下金井●町会の更なる活性化を目指して

下金井公民館では、町内の親睦と活性化を図ることを目的に8月は夏祭りそして10月は文化祭の二大イベントの他、月毎に町内独自のスポーツ大会やそば打ち・しめ縄作り等の講習会を行い活動しています。ここでは毎年実施している恒例の夏祭り「ふれあい広場下金井」を紹介します。このイベントには、公民館役

員と町内運営委員会の協力のもと毎回三百人ほどの大勢の来場者に楽しんでいただいています。催しの内容は、風船釣りや輪投げ競技等の他に夜店のビールと役員達で作る焼きそば・焼き鳥等は何れも美味しいと大変好評です。そして最後に富くじ抽選会を行い大盛況の内に終了しています。今年は新型コロナの影響で止むなく中止となりましたが、代わりにコロナ対策を考慮した「お楽しみ抽選会」を企画し実施しました。夏祭りは毎年大勢の皆さんが楽し



「ふれあい広場下金井」の昨年度の様子

みにしているもので町会にとつて欠かせないイベントとなっています。

下金井公民館長

上地 昭一

里山辺人権啓発 研修会「満蒙開 拓青少年義勇軍 の話を聞き、共 に考える会」

9月15日に、里山辺人権啓発推進協議会が研修会を主催し、会員と一般の参加者を含め総勢47名が参加しました。平成30年度に阿智村の満蒙開拓平和記念館を視察したことから、より深く満蒙開拓の事実を考える場として企画したものです。

今回、昭和17年6月渡満した第五次満蒙開拓青少年義勇軍の久保田中隊に所属し、鉄驢訓練所を経て、「信州総合開発団」として国境地帯の開拓に従事したお二人と、志願して軍隊勤務となり、捕虜としてシベリア抑留を経験されたお一人から当時の満州へ渡ってからの話を伺いました。

今の中学生・高校生の年齢で満州へ渡り、日本の敗戦後、南下したソ連軍の使役に耐えて苦難の末に帰国されたという凄惨な体験をお聞きし、平和の尊さを再認識した研修となりました。

里山辺公民館作品展

11月6日～9日



さとのかぼちゃで収穫した「おぼけカボチャ」でハロウィン作品を展示しました



公民館サークルの展示作品をゆっくりご覧いただきました



地区住民の公募作品や地区内学校の作品も多数展示しました

北小松町会

工夫し、文化祭と防災訓練を開催

- 未だ新型コロナウイルス感染症収束の兆もなく、治療予防薬開発途上の内、私達は未経験な新生活を過ごしております。
- この状況下町会では行事開催に当り、
- ①行事内容の見直し
 - ②感染予防対策
 - ③開催時期のタイミング等
- について検討し、工夫や対策対応を施しました。
- 検討した主な工夫や対策対応
- 一、健康状況聞き取りと検温・町会赤外線式検温器購入
 - 二、マスクの完全着用による飛沫防止
 - 三、手指の消毒実施
 - 四、使い捨てビニール手袋使用
 - 五、三密防止対策として
 - (一)玄関窓等開放し換気対策
 - (二)会場の入場制限実施
 - (三)町会を三分割し安否確認
 - (四)訓練参加班長のみに縮小
 - (五)人と人の身体的距離確保
 - 六、非常食を使った炊出し訓練
 - 七、屋外遊園地等の有効活用
 - 八、感染対策のゴミ処理実施



渡邊 昇

11月1日「きらめき楽しい集い」第34回文化祭と地震発生安否確認、消火栓取扱い、炊出し等日頃の心掛けに備え、防災訓練を開催しました。

北小松町会防災部長

週一ウォークで 地域の良さを再発見



教育文化センター周辺の船蔵めぐり、道祖神めぐり等、見どころたくさん。山辺の文化財の多いことも教えてもらえます。

目的地は当日の朝のお知らせ。参加しての楽しみです。

ウォーキングを楽しみながら、里山辺の地域の良さを気付かされます。

いつも同行してくれる公民館や福祉ひろばのスタッフの皆さんに感謝です。



コロナの中でウォーキングでストレス解消になります。健康維持のために継続していきたいです。

荒町町会
竹岡佳代子

まちづくり協議会
Twitterを
ぜひみて下さい!



今後の事業予定

- 新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが高まる場合は中止、延期、内容の変更あり。
- ☆親子そば打ち教室(12/5)
 - ☆親子もちつき大会(12/12)
 - ☆親子しめ縄教室(12/26)
 - ☆健康講座
 - ☆ポールウォーキング講座
 - 歌で健康力アップ講座
 - ☆防災講演会(1/23)
 - 講師/信州大学地域防災減災センター 菊池聡先生